

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 右近 八郎
 ガバナー補佐 海老原 三博
 会長 斎藤 孝裕
 幹事 菅野 浩司

2023-24年度
地区スローガン
ロータリーの
誇りを
楽しもう!

世界に希望を生み出そう

2023 - 2024 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 ぽのこころ 吉川屋
 RI会長 ゴードン マッキナー 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433
 サウス・クイーンズフェリーRC (スコットランド)

通算

9月は基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの反月間

第12回 [3128] 例会報告 令和5年(2023) 9月28日(木)

出席委員会報告

会員総数	36名
出席会員	21名
欠席会員	15名
出席率	58.33%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 斎藤孝裕 会長

◆ロータリーソング【手に手つないで】 服部裕一 ソング
リーダー

◆四つのテストの唱和 西山友幸 職業奉仕委員長

【 紺野容樹会員よりお願い 】

私が会長をやっております福島信用金庫本店さんの若手経営者の会「新世代経営研究会」では、毎年献血をやっておりますが10月14日土曜日9時から4時まで、献血していただいた方に米2キロとご飯のお供をプレゼントいたします。皆様、献血にご協力をよろしく願っています。

◆お客様紹介

- パストガバナー 大橋廣治 様 (2010-11年度ガバナー) 福島南RC
- グッドライフパートナー福島駅前 理事 両角康史 様
- グッドライフパートナー福島駅前 所長 岡田千里 様
- グッドライフパートナー福島駅前 支援員 柳澤有紀 様

.....lunch time.....

◆会長の時間



本日は福島南ロータリークラブよりパストガバナーの大橋様においでいただきありがとうございます。また、ゲストスピーチとして、グッドライフパートナー様の両角様はじめ他二名の方においでいただきありがとうございます。よろしく願っています。会長の時間ですが、報告事項に代えさせていただきます。まず、大橋パストガバナーより、南ロータリークラブさんと刊行されました本をいただきました。後日、皆様にお披露目いたします。また、9月16日のIMの開催日には、スポGOMI大会が開催され、飯坂クラブからAチーム、Bチームで出場し、汗だくになって頑張っていました。IMは非常に和気藹々の中、カラオケ大会では、吾妻一夫会員にカラオケを披露していただきました。10月22日のエンドポリオの募金活動は、道の駅ふくしまで福島北さん、東さん、飯坂の3クラブ合同で行います。26日は北さんと東さんとの合同例会となっております。出欠等は追々取らせていただきますので、多くのご参加をよろしくお願いいたします。

◆パストガバナー 大橋廣治様 ごあいさつ

テーブルの上を拝見して感動しております。「人と人とのぬくもりを大切に 真心込めたおもてなし 永遠に変わらぬ私どもの心です」と、これはまさに商売の原点だと思います。吉川屋さんがこういう理念を持ってやってこられたから、今でも隆々とお仕事をされているのだと改めて感じた次第です。私はここに立って、ジェラシーを感じております。私どもは今、サンパレスで例会をやっておりますが、来年3月で店じまいをします。その会場をどうするか、市内の奉仕団体などが会場探しをやっています。そういう中で、飯坂クラブさんは素晴らしい会場で例会ができることを感謝しなくちゃいけないのではないかと、あるのが当たり前ではないのです。何年前かに、職業奉仕のスピーチをやらせていただきました。その時に八幡屋の当時の社長さんがいらっしゃいました。最終的に職業奉仕というのは、倒産させないこと、潰さないことであると申し上げたら、八幡屋の社長さんに大変喜んでいただいたので、私も責を全うしたのかなと思った次第です。「ロータリー=職業奉仕」私はこれからもこれに尽きるだろうと思っております。飯坂ロータリークラブさんのこれから益々の栄華を祈念しまして、終わりとさせていただきます。ありがとうございました。



◆副幹事報告 渡辺達也 副幹事

A. 月信 「ロータリーの友」10月号

B. 来信

- ①ガバナー 右近八郎 氏より「END POLIO NOW ポータルサイト閲覧とご活用、さらにクラブ会員の皆様への告知」
- ②福島東ロータリークラブより「2022-23年度県北第二分区分IM報告書」
- ③ロータリー米山記念奨学会より「クラブ米山記念奨学委員長の手引き」他 「豆辞典」

C. メーキャップ報告

9/16 スポGOMI大会 斎藤孝裕、菅野浩司、吾妻一夫、服部裕一、齋藤健太、佐藤喜市郎 各会員

◆国際交流フェスティバル マスコミ回りの報告 鈴木牧子 委員長

先週、会長、幹事、私と畠親睦委員長の4名でマスコミ各社に対して、飯坂けんか祭りの広報と福島県内にお住まいの外国人の方への参加呼びかけをしました。ラジオ福島にも出ました。FMポコは10月2日に放送されると思います。今のところ福大から42名、私の方に2名で44名が集まっております。以上です。

◆親睦活動小委員会からのお願い 畠 隆章 小委員長

先ほどは大橋パストガバナーより丁寧なお褒めの言葉をいただきました。大変光栄に存じます。皆さんご存知のように、来年の親睦旅行の申し込みは今日が締め切り日だったのですが、ちょっと集まりが悪いようです。1ヵ月ほど締め切りを延ばしますので、その間にまた再考していただきたいと思います。1ヵ月後に再度参加者数が延びなければ、また再検討ということになります。ぜひよろしくお願いいたします。

◆スマイリングBOX 川又康彦 小委員長 【合計53s】

パストガバナー大橋廣治様 10,000円 飯坂RC例会出席を記念して
 グッドライフパートナー福島駅前様 5,000円
 島 隆章 会員 5s 大橋パストガバナーをお迎えして
 鈴木 牧子 会員 5s happy Birthdayにお花のプレゼントありがとうございました。
 鈴木 重忠 会員 5s グッドライフパートナー様をお迎えして 大橋PGをお迎えして
 油井 明則 会員 5s 前回、前々回欠席おわびとグッドライフパートナー様をおむかえして
 斎藤 孝裕 会員 3s グッドライフパートナー様、大橋パストガバナーをお迎えして
 紺野 容樹 会員 3s グッドライフパートナー様をおむかえして 大橋PGをおむかえして
 佐藤 真也 会員 3s 両角康史様ならびに大橋パストガバナーをゲストにお迎えして
 鈴木 義明 会員 3s 妻の誕生日に花をありがとうございました。
 西條 博之 会員 3s 大橋パストガバナー様、グッドライフパートナー様をお迎えして
 白川 敏明 会員 3s お久しぶりです



ゲストスピーカーを紹介する
鈴木重忠 会員

◆ゲストスピーチ

「障がい者雇用の現状と皆様へのお願い」

グッドライフパートナー福島駅前 理事 両角康史 様



グッドライフパートナー福島駅前を運営しております社団法人グッドライフパートナーで理事を務めており、さらに加盟団体一般社団法人社会福祉支援研究機構という83の就労移行支援事業所を運営する団体の専務理事を務めております両角と申します。よろしくお願いたします。最初に自己紹介をさせていただきます。私は昭和44年に福島市笹木野で生まれ、今54歳です。福島高校40回で、会長の後輩です。前職は資格の学校の役員をしており、その後、就労移行支援事業所の立ち上げを始め、社会福祉支援研究機構およびグッドライフパートナーを立ち上げたという経緯があります。社会福祉支援研究機構ですが、理事長の佐野と一緒に設立したのが2014年12月です。北は札幌から南は鹿児島まで83個の事業所の仲間と一緒に、一人でも多くの方の笑顔あふれる人生のためにということの仕事をしております。目指すのは、その方の最適で最短な長期の一般就労を叶えたい。就職をすることが目的ではなく、長く笑顔で働いていただいて、正直、税金を使う側でいた方々が、逆に税金を納める側になることによって、この社会が良くなっていくのではないのか。ロータリーの理念等々にも通じるところがあると思います。就職の実績ですが、今年3月までの時点で、合わせて2,972名就職しております。4月以降も多くの仲間が就職しておりますので、多分3,300名台ぐらいなのかなと思っています。支援の中身ですが、先ほど申し上げた通り、私は資格の学校で役員をした経緯がありますので、資格が中核の支援内容に入っています。もし採用となった時、履歴書の中でしっかりと必要な知識が資格で取れているというのが評価対象になると思います。資格も中核に抱えています。私どもの就労移行支援事業所は就職した後、6カ月間は必ず義務期間でサポートする必要があります。その後、3年間の定着支援期間と合わせて3年6ヶ月間はサポートが継続します。就職する前の訓練が大事というより、就職した後にその方が笑顔で働いて、かつ所属している企業様に役に立つ状況で、かつ定着のサポートするのが私どもの役目です。グッドライフパートナーについて少しお話をさせていただきます。グッドライフパートナーは東京杉並区にあり株式会社エコエーという建築関係の会社の代表取締役会長の丹羽が高校の同期で、その社長の長友が宮崎出身ということもあり、宮崎の延岡に2つ事業所をやった上で、満を持して私と丹羽が福島で、この5月にスタートいたしました。続きまして、障害者を取り巻く環境についてご説明いたします。私がこの仕事を始めたのが平成26年です。その頃に障害者の方の人数は787.9万人、人口の約6.2%。精神障害者の方は320.1万人と言われていました。これは厚生労働省の数字です。それがつい最近の数字では、障害者の方の人数は1160.2万人、人口の約9.2%。精神障害者は614.8万人と、本来は日本の総人口が減っているのに、この9年間で障害者のソースは14.7%。中でも精神障害の方は19.2%と増えています。この背景にはいろんなクリニック、精神科が増えたとか諸事情もありますし、コロナ禍というものもあると思いますが、今614万人も精神的な問題で悩んでらっしゃる方がいるという数字が出ています。続きまして、少し前の資料ですが965万人時代に28歳から64歳の本来働けるはずの方々のうち377万人が家にいる、結局は働いていないということです。特別支援学校の平成3年に卒業した方々は、約2万2千人が卒業しているのですが、そのうち就職した方、大学、専門学校に進学した人を合わせても34%しかいません。三分の二の方はそのまま障害福祉サービスを利用して。よく、障害福祉サービスのA型、B型というのをご存知の方がいらっしゃると思います。確かにA型は雇用契約を結ぶので、最低賃金以上のお金を貰って働くのですが、その方が働くために国から税金が出ています。訓練等給付費が出ていて、1日あたり大体6,000円から6,500円くらいのお金が出ています。そして、本人が貰うのは1日5時間労働がほとんどなので、もらえても時給1,000円だとすると5,000円です。そうすると税金6,000円をかけて、そこから納める税金を納めて、貰える金額は知れています。実はそれでも法定雇用率を満たせていない企業さんがいっぱいいらっしゃいます。そうすると、このA型を何とか改善しなくちゃいけないだろうと、今就労選択支援事業というのが、法改正で2年以内に実施されます。より皆さんがステップアップして行こうと、今まで病院にいた方々は社会へ、家にこもっていた方はA型なりB型に、A型B型にいる方は一般就労して、みんなでの国を支えようというのがこの国の今の大きな流れです。障害者の雇用率関係ですが、このグラフが法定雇用率です。段階的に引き上がっていて、来年4月で2.5%、2026年7月に2.7%まで増えていきます。近似見ていただくとハローワークにおける就職のケースですが、平成23年と令和3年を比べると、平成23年時点では、精神障害の方は31%にとどまっていたのですが、今は約半数が精神障害の方が採用されている状況です。ここで皆様へのお願いです。就職に向けたステップアップとして職場実習、職場体験が一番彼らのためになります。皆様の会社様、事業所様、店舗等々で実習をさせていただけないでしょうか。報酬はいただかないし、支援者がついてしっかり訓練をした上でおこなさせていただきます。大事なのはいろんな職場を体験させていただいて、そこでできた事は良かったね、できなかった事はなぜできなかったのかを振り返り、それが障害特性によるものなのか、それが訓練で直るものなのか、その繰り返しで多くの方々が一般就労できるようになり、そして、3年、5年と勤めることで税金を納めて、私たちと同じような納税者として活躍できると思っています。ぜひ皆様のお力をお借りして、先ほど申しました通り、精神障害の方も600万人を超えています。今のペースだと精神障害の方だけで1000万人を超えるというのも、遠い将来ではないと思っています。ただ、その方々ができる事は多々ありますので、ぜひ実習をさせていただければと思っています。そこも含めて、どんな所なのか皆様一度足を運んでいただければと思っています。ご清聴ありがとうございました。